

# 外来での緩和領域における双方向トレーシングレポート導入の取り組みに関する研究

## 1. 研究の対象

2018年6月から2019年2月に、当院で以下の鎮痛剤を外来で処方され、保険薬局からレポートが送信された方

鎮痛剤:オキシコドン錠, MS コンチン錠, フェントステープ, タペンタ錠, ترامール錠, ワントラム錠

## 2. 研究目的・方法

緩和領域における双方向トレーシングレポートの導入に関する評価を行います。

送信されたレポート内容を集計等を行うことにより行います。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴, 麻薬治療の治療歴, カルテ番号, レポートの内容 等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

京都中部総合医療センター 薬剤部

研究責任者:

京都中部総合医療センター 東 碧(あずま みどり)

-----以上